いわき民報

福島縣平市鎌田字古根一八三番地　電話四〇八番
発行所　いわき民報社
発行人兼編輯人　巳之助千代
毎月一日、十一日、廿一日刊　但し日曜を除く
定価一ケ月廿一円　一部七十錢

ヤミ商賣の誘惑を排除し生産へ

きのう新制中と職安所懇談

郡下の新制中學校三十七校から築立つ第一回卒業生千七百三十一名の就職について平公共職業安定所では二十五日午前十時から同所に各校擔任敎諭を集め「ヤミ商賣の魅力」も相當子供たちを誘惑しているようだが今後は輸出方面などの生産的な事業へ就職なるべく指導して貰いたい」と安定所側から要請、卒業期も差迫つた今後の職業敎育は從來のように安定所側で各校へ出張しない方針なので學校自體で當つて欲しい旨を強調、個性を活した就職の指導などについて懇談した、なほ學校側では生徒の組談表を作つて安定所へ提出することも申合せ終つて午後は先生方揃つて片倉製糸工場を訪れ子供たちの就職する職場をつぶさに見學した

鑛業會解體—東部石炭協會新發足

會長には岩川與助氏が就任

鑛業警察法により閉鎖の假指定をうけ三月いつぱいに解體しなければならないことになつていた東部石炭鑛業會は今度石炭協會の二部として新發足することとなり、二十五日本社ホールに鑛業會を解体並に東部石炭協會總立總會を開いて規約の決定、評議員十九名の互選等を行つたが、會長には鑛業會長だつた岩川與助氏がそのまゝ推薦された、なお全協會は專相互の連絡融和親睦を計り專業として東部地方における石炭工業の調査、研究、技術の向上、能率の增進等を計り專業運營の經濟的合理化をモットーとして會員は現在のように强制加入せしめず自由に入脫出來る民主的なものとしている

來月中には成立か

農協組の設立進む

大野村では二十八日、鎭町では二十九日それ〳〵農業協同組合の設立總會を開く、これが出來ると大鎭、赤井、田人、鹿島の既設町村を合せて十ケ町村がその設立を完了したことになるなお來月早々泉、豐間の二ケ町村も設立見込みで他の郡内各町村とも設起人會は結成ずみで三月一杯までには農民の

上川尻間に街燈點る

湯本町上川尻商年會文化部では街の美觀や盜難防止や夜警の便のために先般六箇燈設置を行つていたが十六日その完成を見たので外燈設置感謝映畫會を催した、上川尻海岸間に二十四燈設置したが炭坑に通ずる要路で人通り多いので常警派出所でも完成には

來月からは一主食代替パンの配給

市は一人二個郡部は一個

來月から當分の間主食代替パンの一般配給が始まります—平市鎭治町福島縣パン商工業協同組合連通支部では縣に入荷した放出小麥粉二百六十五トンのうち第一回分割當が近く入るので十六製パン工場を勤勞、平、湯本、小名濱、植田食糧公團管內に同公團で發行するパン券引換えで燒一ケ四十五匁パン（米粉引百二十匁）を當分の間每月一個郡部一個の割で配給する、なほこのパン配給に先立つてもちかく同支部では各地區每に消費者本位の配給を設けるべく業者の打合會を開く

この計畫配給の外一般地方民の使宜を圖つてパン食希望者又は旅行者に對し臨時食糧配給所でパン券を發行することになつた

産業戰士演說會

二十七日午後一時湯本座で齋藤あき、代議士の政綱聲等の眞相を聞けとの演說會を開くが織田正信外崎千代吉兩代議士も出演する

溺死体漂着

二十六日朝四時半頃小名濱岸壁に人相着衣不明の推定二十四、五歳漁夫風の男の溺死体を通行人が發見小名濱署へ屆出た身元や死因不明で調査中

町長と委員渡り合い

採みぬいた小名濱厚生委員會

小名濱町厚生委員會は二十五日開き町營火葬場遺族慰安施設について協議した、原因は指名された小原組が新築費七万円程度に對し十二万円余を主張するので、町では金澤副委員長の承認を受け大体町豫算程度で野口組に請負はしたところ、小原組から野口組に不正手段ありと一委員に訴へたので、これが眞相究明のためによるもので、從つて委員會は非常な空氣を示し木村委員と金澤副委員長の渡り合い、小野（作）委員と町長との暴行沙汰まで生み採みぬいたが、結局野口組に請負はする事となつて一先づけりとなつた

いわき寸言

◎現職巡査が放火犯を辯護する、警察は良民を擁護せず良民の敵を護ることになつたのかナ

◎その中には兇惡犯が政治ゴトとり、良民が狙われる世となりそうイヤ末世も末世、恐い末世ナムアミダブツ…

性病科

内科

平市鎭鎌田町　矢吹醫院　電話828

齋藤代議士演說會
二十七日午後一時湯本座で齋藤あき、代議士の政綱聲等の眞相を聞けとの演說會を開くが織田正信外崎千代吉兩代議士も出演する

溺死体漂着
二十六日朝四時半頃小名濱岸壁に人相着衣不明の推定二十四、五歳漁夫風の男の溺死体を通行人が發見小名濱署へ屆出た身元や死因不明で調査中

産生旬中木炭
559.490㎏
統制物資

木炭中旬の生産量は民炭三四五、四〇〇㎏、官炭一〇八〇〇㎏、粉炭五四〇〇㎏の合計三五六、七四〇〇㎏と上旬生産量よりやゝ上廻つており、燃料は相變らず多く民炭六四八、七五〇〇㎏、官炭一〇、七四〇㎏の合計六五九、四九〇㎏となつている

臭味の司壽リニギ一前戸江
一〇〇%の藥發
一司壽
司壽　電575
玉魚　電633
店加工一第
店加工二第

店賣小物産水工加　町本湯　禮御選當

（同不順）
東京屋支店　慶町電一三二
白煉瓦會社　品川駅宅内　前賀
大江商店　上町
飯島藤四郎　上町電一五六
庄司濱吉　天王崎電一九六
郡司兼助　天王崎電一七七
岡部富與　迎町電一六六
折內淺松　二四二六
佐川新平　吹谷電八一
金子屋　袋町電六六
小島佐左エ門　三四二七
內藤商店　上町
石河傳吉　桑田電二〇二
菅野保海　上川一六
田口屋　吹谷
野村英男　上町
志賀辰次　八川
瀧屋　仙台

耳鼻咽喉科
高柳醫院
平市鎭鎌町　高柳博明　電一二二

皮膚科
泌尿器科
江尻醫院
平市材木町一二二
平東寶亭（電四二四八）

平和外交論者 安藤對馬守信正

維新史料、藤澤氏資料による 4

史談會員 鈴木光四郎

日本國葡國修好通商條約

第一條
日本大君と葡國王に世々と其の互の所領臣民の間に永久の平和懇親あるべし

第二條
日本大君はリスボンに在留する政事を預る役人を任じ並に葡國の各港の中に在留する諸取締の役人及び貿易する役人を任ずべし

第三條
神奈川、長崎、箱館及び町は万延元年八月十七日葡國民の爲に開くべし。葡國人の遊歩の規程は各方へ凡そ十里たるべし

第四條
日本に在る葡國民間の爭は葡國司人の裁斷たるべし

第五條
葡國人に對し惡事をなせる日本人は日本司人にて糺し日本法度に隨って罪すべし

第六條
葡國人日本人に付き訴ふべき事あらば領事館に赴きその旨を告ぐべし

第七條
葡國人日本商人に補償ありて償を怠り又は奸曲ある時は領事是を裁判して嚴重に償はしむべし

第八條
在留の葡國人日本の人民を雇い諸用事に充つる事妨なし

第九條
在留の葡國人其の國の宗旨を念じ拜所を居留の場所に營む事障なし

第十條
外國の諸貨幣は日本の貨幣と同種の同量を以て通用すべし

第十一條
葡國海軍の爲用意の品は神奈川、長崎、箱館の內に陸揚し庫內に納むべし

第十二條
葡國船日本海岸にて破船又は漂着し或は危難を遁れ來る事を知らば其所の司人之を救い厚く扶助を加えて最寄の領事へ送り渡すべし

第十三條
葡國商船日本の開けたる港に來る時又は港を出る時は水先案內を雇ふ事勝手たるべし

第十四條
葡國人開けたる各港に諸品物を輸入し賣拂い又は買入れ輸出する事自由なるべし

第十五條
日本の運上所にて荷主申立の價を奸ありと察する時は運上役所より相當の價をつけ其荷物を買入る事を談ずべし

第十六條
輸入の荷物定例の運上納濟の上は日本人より國中に輸送するとも別に運上を取立つることなし

第十七條
葡國商船開きたる港に品物を輸入し規定の運上納濟の證書あれば再びその品物を他の港に轉致陸揚げするとも重税は取り立てざるべし

第十八條
開きたる港の日本司人密商奸曲を防ぐため相當の規則を立つべし

第十九條
過料取上物の類は總て日本役所に納すべし

第二十條
此の條約に添えたる商法の別冊に本書同樣双方の國民互に遵守すべし

第二十一條
此の條約は日本葡國及び和蘭語にて書すべし

第二十二條
兩國にて此の條約を改革せんとするときは一年前に通達すべし

第二十三條
日本政府より向後外國の政府及び臣民に許すべき特典ある時は葡國民にも同樣たるべし

第二十四條
此の本書は日本よりは大君の御名と奥印を署し葡國王自ら名を記し調印し十八ケ月の內江戶に於て取替すべし

万延元年六月十七日
於江戶安藤對馬守以下二名の花押
ギマレース署名

私達の職場 ③

世の中は忙しいこと お役所の仕事にも多い缺點

平市役所配給課配給係 綠川ヤス子(一九)さん

綠川さんは昨年磐女を卒業、家事手傳の傍洋裁の夜間部に通っていたが昨年十月二十五日附で市役所配給窓口事務を擔當している

◉職場—配給係は主任以下僅か四名、飯米通帳の訂正係と乳製品係、特配係の三つに分れて綠川さんは乳製品、特配兩係を一人で兼務している市民の配給窓口事務を二人で擔當しているから眼の廻るような忙しさで最近は登錄事務も俄かに増えて退廳はいつも六七時ごろ、夜遲く歸るせいか晝間の事務にも疲勞が重さなる、お役所は何にか活氣が缺けているようだった、待遇の點で不平があるのか窩んで働ける樣に指導の地位にある方か仕向けて呉れないのか?「とにかく新參者の私でさえ例へば同じ登錄でも乳製品と乳兒用砂糖は同性質のものだから同時に行ったら手數も相當省けるのに…」これがお役所の缺點でもあるようです、配給事務は兎角陰口を云はれ勝だが綠川さんの場合は勤務年限も淺いせいか直接大した文句も云はれた事もない、乳製品關係は窓口に來るのも女の方が多いのでおとなしい、先月は通帳の訂正、今月は登錄事務、來月は木炭の關係で…日曜も出勤するのは配給係りだけ、それでいて市民の方は『御苦勞さん』どころか事務が澁滯すると直ぐ文句を云うもっとも來月からは高女生が新採用になって應援の豫定だが人員を殖して貰はないと手が廻らない「いつも驚いているのですが死亡、結婚、生産の特配申請の多いこと、こんなに死んだり一緒になったり生れたり…世の中ってかくも忙しいものかしら、と考へさせられますわ」

◉待遇—本俸三百二十円、手當を加へると八百六十五円『毎日お辨當を持って千円たらずのお金を親へ差出すのかと思うと恥かしくなりますが然しこれも世間を知る機會であれば一生懸命努めるより外ありません』俸給は身の廻り品を買うのにも足りない樣子だった

◉結婚觀、その他—戀愛結婚のこと、職場結婚は不可、人物本位で對手の職業は問題外、男女同權に就いては深く考えたことはない、好きな政黨はなし、たゞ綠川さんの理想として『親切にしてあげること、眞面目に働くこと、聞いた話だが窓口で姑さんに認められ是非博子の嫁になって下さいと申込まれて幸福な結婚が出來た方があるとか…これは夢かも知れませんが、そうした夢を追って懸命に働くことが幸福だと思います…」

中旬も見事出超に

素晴しい炭田主力三大炭鑛

101.124屯

常磐炭田中旬の出炭成績は東部は目標二万八千百トンに對して二万六千二百四十七トンで千八百五十三トンの赤字であったが東北は目標七万二千七百トンに對し一〇〇、三%の七万四千八百七十七トンで二千百七十トンの黑字を誇ったため合計で十万八百トンの目標を三百二十四トン突破の一〇〇、三%の遂行率で十万千百二十四トンという成績で、上旬に引續いて見事出超を示した主力三大炭鑛の成績は次の通りで完全に主力鑛の威力を誇った(單位トン)

◇常磐三〇、一六七(一〇七%)◇古河好間八、九九二(一〇三%)◇大日本勿來鑛六、一三三(一〇三%)

通信教育生希望者募集

市教育課では働きながら勉强したい人たちのために縣中等程度通信教育生の希望者を次の要領で募っているが近く揭示板で周知する 出願は來月十五日まで募集定員は縣立磐中百名、同會中百名、資格は縣內居住者で男女年齡に制限はない 詳しくは教育課で說明することになっている

神經科 內科 精神科 電15
平市揚土小路 新田目醫院

佐川君優勝

小名濱江名方部選手權大會は二十四日小名濱麻雀クラブで開いたが、入賞者は左の通り

一等 茶壺 佐川英夫
二等 針箱 前橋忠男
三等 置時計 小野廣
四等 重箱 鈴木猛
五等 裁縫用具 松井川藤三郎
六等 栗盆 高橋
七等 鐵ビン 前橋廣
八等 鍋 渡邊泰雄
九等 洗面用具 元部助三郎
十等 全 本田昌生

パーマと洋髮
最新式無電パーマ
新技術良くかゝる
當店を御利用下さい
平局前 角丁町五〇 直龍軒婦人部

キリスト教講演會

演題 「知識か愛か」
講師 昭和醫大教授 醫學博士 諏訪信先生
日時 二月二十九日(日)午後一時より三時迄
會場 平市常陽銀行二階
聽講料 三円 聽講自由
主催 いわき聖書研究會

健康のモトは
毎月一回淸腸日を
1 腸の消毒排除(淸腸藥)
2 回虫蟯虫の驅除(虫下シ)
3 レバロン、カルシウムの營養素の補給
(ツカレ、ムシワカズ)
日本健民厚生師會研究員
國民健康保險藥劑師
公衆衛生師
藥劑師 阿部康雄
阿康藥局
平市田町銀座街